

家庭学習の手引き 保護者版

～授業が基本!自主的な家庭学習の習慣作りを子どもたちに!～

相馬市教育委員会ならびに学力向上対策協議会、相馬市学力向上推進会議では、家庭のご協力のもとに児童生徒の自主的な家庭学習を推進していこうと「相馬市家庭学習の手引き 児童・生徒版」と「相馬市家庭学習の手引き 保護者版」を作成いたしました。「子どもにどのような言葉かけやサポートを行えばよいのか分からない」という保護者の声が届いていることから、保護者用の手引きには小・中学校9年間のそれぞれの発達の段階に即した「魔法の言葉例」を載せました。

保護者の皆様には、児童生徒の自主的な家庭学習習慣の確立にむけて小・中学校9年間を通してご協力くださるようお願いいたします。

さあ、家庭学習を始めましょう!

勉強中の SNS・ゲームは禁止!

スマートフォンやテレビ・ゲーム・動画用タブレットなど、SNS に関わるもの・ゲームや動画につながるものは、勉強中は**そばに置けません!**

机の上に教科書やノート・プリントを広げられるようにしましょう!



「どうやって解いたの?」「どう考えたの?」など、お子さんと会話しましょう。説明できる子どもは理解できています。お子さんが勉強していること、学習をしている様子、ノートなどに目を通し、具体的に褒めましょう。

「○○しなさい」より「○○の方がいいね」などの言葉かけの方が、子どものやる気が出ます。

また、兄弟姉妹や他の子どもと比べるのはやめましょう。



小学校1・2年(低学年)

見て、褒めて
やる気を伸ばす！

◎ 時間の目安 1年生20分、2年生30分(学年×10+10分)

【子どもがやる気になる『魔法の言葉例』低学年バージョン】

【学習する習慣づけのために】



- ・ 言われなくても勉強してるね。すごい！
- ・ 今日学校でどんな勉強したの？教えて。
- ・ すごい！今日の勉強した教科書のページが開けたね。学校で先生のお話を聞いているからだね。

【できていることをほめましょう】

- ・ 今日の学校での勉強、覚えているね。
- ・ 指でなぞりながら言葉が読めたね。
- ・ 鉛筆が正しく持てているね。
- ・ 正しい順番で字が書けているね。
- ・ まちがえないで音読できたね。
- ・ 大きな声で音読できているね。
- ・ 丸付けは自分でやってみる？(はじめは一緒にやってあげましょう)
→すごい！いっぱい当たっているね。
→間違えたところを直してみよう。
- ・ 自分で丸付けできるね。すごい！



【分からない・できないところがあったときは…】



- ・ 教科書(ノート)を見ながらやってみよう。
- ・ ゆっくりでいいよ。
- ・ 最後までできたね。
- ・ 計算問題、丸が増えてきたね。
- ・ 今日は○問もやってがんばったね。

【次の日の学校に向けて】

- ・ 明日は学校でどんな勉強をするのかな。教科書を見てみよう。
※時間は1分間。子どもが音読しても良い
- ・ 明日の準備をしよう！時間割は何かかな？
- ・ すごいなあ。自分で準備できたね。



小学校 3・4(中学年)

認めて、褒めて
自信をつける！

◎ 時間の目安 3年生40分、4年生50分(学年×10+10分)

【子どもがやる気になる『魔法の言葉例』中学年バージョン】

【学習する習慣づけのために】



- ・ 言われなくても勉強始められたね。すごい！
- ・ 自分から勉強できるってすごいなあ。1
- ・ 今日学校でどんな勉強したの？教えて。

【できていることをほめましょう】

- ・ 今日の授業の内容、分かっているね。
- ・ 漢字を使って文章が書けてるね。
- ・ 間違えた問題のやり直しができてるね。
- ・ ずいぶん集中してがんばっていたね。
- ・ (できていることをほめてから)どうやって解いたの？
- ・ (できていることをほめてから)どんな考え方をしたの？
- ・ 自分で分からないことまで調べていてすごい。



【分からない・できないところがあったときは…】



- ・ 教科書(ノート)を見ながらやってみよう。
- ・ もう一度間違えた問題をやってみよう。
- ・ ゆっくりでいいよ。
- ・ 最後までできたね。最後までやるのが大切なんだよ。
- ・ 今日は〇問もやってがんばったね。
- ・ 丸付けは自分でできているね。

【次の日の学校に向けて】

- ・ 明日は学校でどんな勉強をするの？
- ・ 教科書のどのページの勉強をするの？
- ・ 明日の準備は終わった？自分で準備できてすごいね。
- ・ 必要な物が自分から言えるってすごいなあ。



小学校5・6(高学年)

見守り、認めて
自主性を伸ばす！

◎ 時間の目安 5年60分、6年70分(学年×10+10分)

高学年になったら…

一人前に接してもらいたい時期です。考える力も大人並みになり、時には大人への反抗も見られます。自分で決めさせ、「やればできる」との自信を持たせましょう。見守って、できたところを褒めるのがポイントです。

【子どもがやる気になる『魔法の言葉例』高学年バージョン】

【学習の確認は…】



- ・ 今日時計を見て勉強できたね。
- ・ 計画を立てて勉強できているね。
- ・ 時間を決めて自分でできるなんて、大人になったね。

【会話を通して】

- ・ 今日の授業、どんなことをやった？
- ・ このニュース、知ってる？どう思う？
- ・ 今度のテスト、どんな目標にするの？応援してるよ。
- ・ 高学年は算数とか難しいよな。お父さんはこんな勉強したよ。
- ・ 6年生の時、授業でこんなことをしたんだよ。(自分の経験を話す。失敗談ほど子どもは興味津々です)
- ・ 最初はできなくても、繰り返しゃるとできるよね。



【ワンポイント・アドバイス】



学習内容が難しくなります。
その授業で分からなくても、後でじっくり考えると理解できる子どももいます。だから家庭学習で教科書やノートをもとに、もう一度振り返る時間が大切なのです。
一緒に教科書を見る、次の日先生に何を聞くかなどの相談にのる…なども良いですね。

中学生

計画的・継続的に学習を進め、
進路を明確にして取り組む！

中学生になったら…

子どもの学習の様子をチェックしたり、過度に言葉をかけたりするのは逆効果。約束事を決めて、優しく大きな心で見守りましょう。

- ① インターネットの使用はルールを決めましょう。
- ② 受験そのものよりも、将来何になりたいのか、どのような道に進みたいのかを、時々確認するようにしましょう。
- ③ 学習の目標を子どもに決めさせて、達成するためには親として何を協力できるかを話し合いましょう。
- ④ 食事時などに、学校での出来事を話したら、積極的に聞いてあげましょう。「聞き出す」のではなく、相づちを打ちながら「共感する」姿勢を大切にしましょう。

【子どもがやる気になる『魔法の言葉例』中学生バージョン】



- ・ 部活動との両立は大変なのによく頑張ってるね。1日ごとよりも、1週間全体で学習を考えてみたらどうかな？
- ・ 自分で決めたようにできたね。立派なことだよ。
- ・ ○○のことについて、あなたが頑張っているのを知っているよ。

【ワンポイント・アドバイス】

具体的に褒めないと、思春期の子どもは聞いてはくれません。
焦らないで、温かな心で見守ってあげること、そしていつまでも味方であることを示すこと、ただし、やっていけないことは「いけないことだ」と毅然とした態度で示すことが大切です。



【3年間で伸びた事例】

- ・ 小学校の高学年頃から親子で機会を捉えて話し合い、将来像についてビジョンを持つことができていたケース。
- ・ 部活動の競技に打ち込み、もっと専門的に学びたいという気持ちになって将来設計を立てることができたケース。
- ・ 教科担任の授業内容から、その教科、分野の学びそのものに興味を持って自分から進んで広く調べるようになったケース。
- ・ 学級担任から指示された家庭学習のやり方が適合して定期テストでの成績が向上し、学ぶことへの興味が高まったケース。